

ブックモビルに関する解説

- (1) 昭和25年、図書館法が施行され、近代的な図書館活動が要求されるに及び、昭和26年からにわかにはブックモビル熱が高まったのではないと思われる。
- (2) 昭和32年に再びブックモビルの購入が目立つ、これは食糧事情の好転に影響されたものか、それともっと違った要因によるものかは判らない。
- (3) そろそろブックモビルの寿命が満了するところであるから、新車にかえるところも多くなってくるのではないか。
- (4) ブックモビルをもっている府県は、31。つまり全国の3分の2の都道府県立図書館がブックモビルをもっていることになる。
- (5) その31道府県のうち、ブックモビルの1台しかもっていない府県は13であり、然もその13のうち、東北、四国及び九州で9を数える。
つまり中央から遠く離れた県だけが、1台しかもっていないような気がする。
- (6) 購入費の点から見ると、100万円以下というのは改造費であって、県の広報車その他を譲ってもらってブックモビルにしたものである。
- (7) 400万円以上というところも、ないわけではない

- が、200万円から250万円というところが、一番多いことも見のがせない。
- (8) 大型か、中型か、小型かという分類は、係が調査票を見て勝手に分類したものであるから、あるいは間違いもあろう。しかし、一応は専門家に聞いて分類したことも附加しておきたい。
- (9) 将来に対する意見としては、中型が一番よろしいという意見が圧倒的に多いにもかかわらず、実際に購入しているのは大型が多い。これは大型バスのエンジンやシャーシを転用するからではなかろうか。わが国の実に情あったブックモビルの設計が必要であろう。
- (10) なお、ブックモビルの歴史（とまではいえないだろうが）として、一番古くブックモビルの設置した県は高知であることを知った。
- (11) 一つの図書館で四台も動かしている千葉、図書館という建物をやめてブックモビルだけ五台を動かしている兵庫なども印象深い。
- (12) アメリカ式の扉をあけると書架があるといったブックモビルに対して、かなり疑問をもっている府県もあった。道路が悪いために車体がゆがみ、ホコリが入ったり、雨が入ったりするので、むしろ強力な小型車で、図書運搬専用のものでもよいのではないかとということもある。

| 日曜日を休館日とすることについて（調査票） | | | | | | | | | |
|---|-----------|----------|-----------|---------|-----------|-------------|---------------|--------|-------|
| 注：該当事項に○印をつけて下さい。 | | | | | | | 福島県立図書館 | | |
| 1. あなたの住所 | 福 島 | | 県 北 | | | そ の 他 | | | |
| | 旧市内 | 新市内 | 信 夫 | 伊 達 | 安 達 | 県 中 | 県 南 | 会 津 | 浜 浜 |
| 2. あなたの職業 | 高 校 生 | | 銀 行 会 社 員 | | 運 輸 通 信 業 | | 工 業 | | 主 婦 |
| | 受 験 準 備 中 | | 公 務 員 | | 農 業 | | 技 術 者 | | そ の 他 |
| | 大 学 生 | | 教 員 | | 商 業 | | 自 由 業 | | 無 職 |
| 3. あなたの年令 | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代以上 | 4. あなたの性別 男 女 | | |
| 質 問 | | 回 | | | | | 答 | | |
| 日曜日を休館日とすることについてあなたはどのように思いますか | | こまる | | 休館してもよい | | 従来よりもかえってよい | | どうでもよい | |
| 日曜日を休館日とするかわり、月曜日から土曜日まで毎日午後6時頃まで開館時間を延長した場合には、あなたはどのように思いますか | | それでも こまる | | それなら よい | | それなら ますますよい | | どうでもよい | |